

戦争を語り継ぐ

保育園の現場から

広見保育園

「食」から戦争を伝える

広見保育園では、昨年、子どもたちにとって一番身近でわかりやすい「食べ物」に焦点を当て、戦争を伝える学習をしました。

職員がもんぺを履いて寸劇を行い、その中で芋茶がゆをつくりました。芋茶がゆは、ジャガイモと少しの米をお茶で煮て塩のみで味つけしたものです。

近藤妙子園長は「子どもたちに『戦争中は1日1回、これだけしか食べられなかったんだよ。もつと食べられないうちもあつたんだよ』と伝えると、『いやだ』『お腹が空く』という声があちこちから上がりました。豊食の今だからこそ、戦時中の空腹を少しでも実感



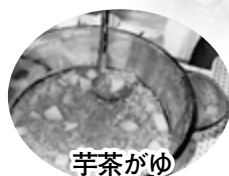
もんぺを履いての職員劇▶



▲芋茶がゆを食べる園児

8月15日は68回目の終戦記念日です。戦争を知らない世代がふえている今、どのように戦争は伝えられているのでしょうか。今回は、市立保育園の取り組みを紹介します。

してくれればいいですね」と話します。また、「最近では、家庭で戦争の話をするのはあまりありません。そのようなかで、子どもたちが『戦争のころの御飯を食べたよ』などと家で話し、それが家族の中で戦争のことを話すきっかけになればと思います」と期待を込めて語ります。



芋茶がゆ

焼きをつくる予定です。

中野保育園

歌と語りで戦争を伝える

中野保育園では、昨年、8月1〜9日を平和学習週間とし、読み聞かせやテレビCMでおなじみの歌「まあいいのち」を園児と歌いながらのパネルシアターを行いました。



絵本の読み聞かせ

「生きる」が

「平和」だと伝えたい

私は平和学習週間で、各教室を何度も回り、園児の年齢に合った絵本の読み聞かせなどをします。子どもたちは真剣に聞いていますよ。全部はわからなくても、子どもなりに何か感じているのだと思います。

きっかけは、以前勤めていた保育園で、地域の人に戦争のことを語ってもらったことでした。その語りに感銘を受け、子どもたちに戦争を伝えるためにできることは何かと考え、今の活動を始めました。私自身、戦争を体験した両親の話を聞いていて、「戦争をしてはいけない」と伝えたいという思いもありました。

戦争のことは、これからも伝えていくべきです。そして、今「生きる」「命がある」「平和」なことこそが「平和」なのだと感じてほしいですね。



中野保育園主任保育士 影山 俊子

戦争を知り平和を考えよう

2013 平和のための富士戦争展

とき／8月13〜18日 9〜17時
ところ／ロゼシアター1階展示室

入場料／無料

問い合わせ／「平和のための富士戦争展」実行委員会事務局

加藤 方 ☎(61)2722

三三三原爆展

とき／8月6〜15日

ところ／中央図書館本館1階エン
トランスホール

平和を学ぶ講座

とき／8月25日、9月8・22日、

10月6日、11月10・24日、12月
8日の各日曜日と10月19日(土)

9時30分〜11時30分 計8回
ところ／鷹岡まちづくりセンター

2階第2会議室

内容／地域の戦争の歴史や戦争体
験者の話など

受講料／無料(別途資料代がかか
ります)

申込期限／8月21日(水)

問い合わせ／平和のための富士戦争
展実行委員会内「講座運営委
員会」

土屋 方 ☎(71)4016

山崎 方 ☎090-2948-

2801